

施策	1102 循環型社会の形成						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
単位施策目的	環境保全に対する市民意識の醸成、リサイクル活動、マイバッグ運動の推進等を図る。						
成果指標	①市民一人当たりごみ収集量(1日) ②リサイクルされた資源物量						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 []	予定	578.00	566.00	554.00	542.00	530.00
		実績	851.00				
	成果指標2 [t]	予定	7,180.00	7,260.00	7,340.00	7,420.00	7,500.00
		実績	8,848.94				
		単位コスト	1.00				
	成果指標3 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 []	予定					
実績							
単位コスト							
トータルコスト (千円)	予定	9,762			0	0	
	実績	8,870			0	0	
内部評価	貢献度	本施策の目標を達成することにより基本施策の環境保全に取り組んでいる市民の割合の成果に大きく貢献する。					
	達成状況	本施策目標は順調に推移しているが、未達事業があるため施策事業の関連性を考えながら進捗管理をしていきたい。					
	課題	目標値の件数と予算の計上件数にずれがあるため、予算執行率100%を目指したとしても目標値の70%にとどまるため、目標値の修正や予算額の検討が必要である。					
	取組方針	全事業の90%以上目標値達成を目指し市民意識の向上と事業の周知を図り、ごみから資源へのリサイクルを推進するため事業に取り組む。					
外部評価	ごみ収集量の削減は経費削減に大きく影響するため、目標未達であるから目標値を見直すという発想から、初めに達成に向けた新規事業の掘起しや事業内容の改善に取り組むという意識転換を強く求める。 補助金等の事業が多いため、低予算でできる事業（基本施策評価で提案した「栃木市エコーデー」に合せて、リサイクルに取り組む企業の顕彰制度や市民1エコの実践等）を考えるなど行政の自発的な取組みを期待する。 循環型社会の形成は幼少期からの教育が重要であるため、学校教育の一環として「リサイクルの仕組み」や「低炭素社会」を学ぶ機会を設けるよう、教育部門への働きかけを願う。						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	151301	資源物回収活動団体支援事業費				4,246	100
	151501	マイバッグ持参運動事業費				2,494	96
	151201	生ごみ減量化補助金				1,160	95
	151101	バイオ式生ごみ処理機管理費				970	67
	157101	一般廃棄物処理基本計画等策定業務委託費					0

事業

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	040202	予算科目コード	151201	事業区分	02 政策的事業	新規/その他	2 その他	基本施策	単位施策
事業名	生ごみ減量化補助金										
担当課	生活環境部 環境課										
係担当	担当者 関口聡子										
事業の性質	2 自治事務	根拠法令等	栃木市家庭用生ごみ処理機設置補助金交付要綱								
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、(国)を、(県)を、(市)を、(町)を、(村)を、(支店)を、(手取)を(租入)各家庭から出される生ごみ、特に生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理機を購入する経費の一部を補助する。【主要事業】)</p> <p>達成目標</p> <p>成果指標</p> <p>①市民一人当たり生ごみ収集量(1日)5年間で530gへ圧縮(現状値590g/日)単位g/日 ②リサイクルされた資源物量5年間で7,500tへ増加(現状値7,100t)</p>										

単位:千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
地方債	0	0
その他特財	0	0
一般財源	128	410
事業費 a	128	410
人件費 b	1,500	750
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	1,628	1,160
結果指標1	2,00	24,00
結果指標2	6,00	16,00

事業の内容	平成24年度	平成25年度
コンポスト容器設置補助金	20基	24基
・申込基数	20基	24基
・補助金額	100,000円	87,200円
堆肥化促進剤専用容器設置補助金	5基	1基
・申込基数	5基	1基
・補助金額	25,000円	2,800円
電気式生ごみ処理機設置補助金	20基	16基
・申込件数	20基	16基
・補助金交付額	400,000円	320,000円

事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
算出方法	妥当	無	適正	有効	有	有
指標名	算出方法	単位	件	件	件	件
コンポスト等補助件数	補助申請書件数	平成25年度目標	80件			
電気式生ごみ処理機補助件数	補助申請書件数	平成25年度目標	45件			

事業改善計画
(改善内容とその効果を具体的に記入)
広報とちぎを活用することにより生ごみ処理機の補助について周知がされいることから今後も継続し広報していく。

栃木市事務事業評価表

平成 25 年度

会計	一般	款項目	040202	予算事業コード	151301	事業区分	02 政策的事業	新規/その他	2 その他	基本施策	単位施策
事業名	資源物回収活動団体支援事業費		生活環境部 環境課 環境政策担当		環境政策チーム		担当者		長山雄紀	豊かな自然環境の保全	循環型社会の形成
担当部署 係・担当者一人名	生活環境部 環境課 環境政策担当										
事業の性質	2 自治事務	根拠法令等	栃木市資源物回収活動団体報償金交付要綱								
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、種(何)を、どのような方法で、どうしたいのが、対象、手段の記入) 報償金の額は、1kgにつき3円を加算して得た額とする。(1団体10万円限度)</p> <p>【主要事業】</p> <p>達成目標</p> <p>①市民一人当たりごみ収集量(1日)5年間で530gへ圧縮(現状値590g/日) 単位g/日 ②リサイクルされた資源物量 5年間で7,500tへ増加(現状値7,100t)</p>										

単位：千円、人		平成24年度		平成25年度	
		平成24年度決算額	平成25年度決算見込	平成24年度	平成25年度
国庫支出金	0	0	0		
県支出金	0	0	0		
地方債	0	0	0		
その他財源	0	0	0		
一般財源		2,997	3,496		
事業費 a		2,997	3,496		
人件費 b		1,500	750		
減価償却費 c					
総事業費 a+b+c		4,497	4,246		
結果指標 1		65.00	75.00		
結果指標 2		1,192.00	1,353.00		

事業費、指標の推移	事業の内容		その成果		算出方法	単位
	登録団体 75団体	登録団体数	75団体	平成25年度目標80件		
登録団体	75団体					
報償金額	3,495,325円	報償金額	3,400,000円			t

事業改善計画

(改善内容とその効果を具体的に記入)
 平成25年度までは1回あたり500kg以上の資源物回収活動を実施した団体に対し報償金を交付したが、団体の増加を図りよりリサイクルを推進するために500kg以上の制限を削除する。

事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	有	成果向上の余地	有
---------	-----	----	----------	---	-------	----	-------	----	---------	---	---------	---

事業

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 25 年度

会計	一般	款項目	040103	予算事業コード	151501	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他		基本施策		単位施策	
事業名	マイバグ持参運動事業費															
担当部署	生活環境部 環境政策担当															
係担当者	環境政策チーム															
事業の性質	2	自治事務														
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、誰(何)を、どう(何)方法で、どうしたいのか、対象、手段の記入)</p> <p>マイバグを作成し、市民に配布することにより、マイバグの利用・レジ袋の削減・ごみの減量化を促進し、地球温暖化防止対策の推進を図る。</p> <p>県と市で進めているレジ袋無料配布中止の取り組みを積極的に推進するため、キャンペーン等を実施する。</p> <p>事業者や市民団体等とレジ袋削減に関する協議会を設置する。</p> <p>(主要事業)</p>															

達成目標	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)の目標)</p> <p>・マイバグ利用を促進することにより、レジ袋の削減及びごみの減量化を図る。</p>											
成果目標	<p>①市民一人当たりごみ収集量(1回) 5年間で530gへ圧縮(現状値590g/日) 単位g/日</p> <p>②リサイクルされた資源物量 5年間で7,500tへ増加(現状値7,100t)</p>											
事業の内容	<p>地球温暖化防止対策の一環としてマイバグ持参運動を推進する。</p> <p>マイバグの作成・配布</p> <p>マイバグキャンペーンの実施</p> <p>レジ袋削減推進協議会の運営</p>						<p>地球温暖化防止対策の一環としてマイバグ持参運動を推進する。</p> <p>マイバグの配布</p> <p>マイバグキャンペーンの実施</p> <p>レジ袋削減推進協議会の運営</p>					
その成果	<p>平成24年度</p>											
単位:千円、人	平成25年度決算見込											
国庫支出金	0											
県支出金	0											
地方債	0											
その他特財	0											
一般財源	1,838											
事業費 a	244											
人件費 b	1,500											
減価償却費 c	2,250											
総事業費 a+b+c	3,338											
結果指標 1	1,000.00											
結果指標 2	5.00											

指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
マイバグ配布数	マイバグ作成・配布数	枚		妥当	無	適正	有効	無	有
キャンペーン等実施数	キャンペーン等実施回数	回		妥当	無	適正	有効	無	有

(改善内容とその効果を具体的に記入)

マイバグの配布方法やキャンペーン方法を検討し、レジ袋削減に有効なものに改善していく。

事後評価等	
-------	--

